

## 「シジュウカラの卵が消えた! (1)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

北軽井沢に設置した巣箱のシジュウカラは、今年は10個の卵を産んだ。全部産み終わって、日中も抱卵を始めたのが5月11日、孵化までの日数は12~14日であるから、そろそろヒナが産まれてもいい時期となった。ところが5月15日にちょっとした事件が起きた。

一晩で、卵が1個減っていたのだ。どう考えても卵が勝手に逃亡することはないし、卵のまま巣立ちしたというの聞いたことがない。

まずはへびを疑った。自然の樹洞でも人工の巣箱でも、7割近くが営巣中にへびに襲われるという。私が架けた巣箱も、過去に3回も蛇に襲われ、そのうち1回はヒナが全滅している。



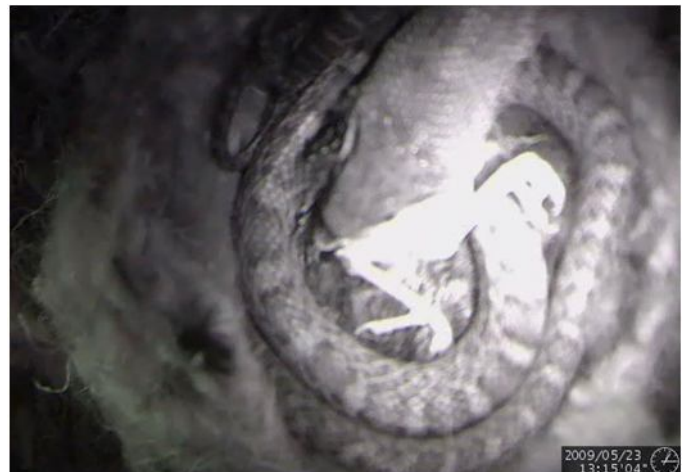
「5月14日夕方の巣箱」 卵は確かに10個ある。



「巣箱に侵入するへび」(2009年撮影)



「5月15日朝の巣箱」 卵は9個に減っていた。



「へびに襲われるシジュウカラのヒナ」(2009年撮影)  
幸いこの時は5羽のうち飲まれたのは1羽だけだった。

しかし、過去に、卵がへびの被害に遭ったことはなかった。ネコやキツネが巣箱に手を入れて、卵を1個だけ持っていくような、器用な真似はだきないだろう。一体犯人は何者か? (つづく)